

平成 30 年 12 月 3 日

OTOWA カップ 第 29 回 関東女子ラグビーフットボール大会
Supported by アミノバイタル 大会実施要項 (一般の部)

1. 名 称 OTOWA カップ 第 29 回関東女子ラグビーフットボール大会 Supported by アミノバイタル (一般の部)

2. 趣 旨

- (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15 人制ラグビーのレベルアップを図る。
- (2) 第 5 回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。

3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会

4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会

5. 協 力 : 埼玉県ラグビーフットボール協会
神奈川県ラグビーフットボール協会
千葉県ラグビーフットボール協会
東京都ラグビーフットボール協会

6. 冠協賛 : 株式会社オトワ

7. 商品協賛 : 味の素(株)スポーツニュートリション部・アサヒ飲料(株)

8. 出場チーム

- A: 合同 : Sweets (湘南ベルマーレ Bell17・世田谷区 R S レディース・前橋レディース・北海道バーバリアンズディアナ・戸塚共立メディカル女子ラグビー部 YOKOHAMA TKM)
- B: 単独 : 日本体育大学ラグビー部女子
- C: 合同 : ARUKAS・八戸・Artemi-Stars (ARUKAS QUEEN KUMAGAYA WOMEN' S SEVENS R. F. C.・八戸学院大学・横河武蔵野 Artemisters)
- D: 合同 : フェニペガルーヴ (BRAVE LOUVE・東京フェニックス RC・千葉ペガサス)
- E: 単独 : RKU ラグビー龍ヶ崎 GRACE

9. 日程・組み合わせ・会場

(1) 12 月 9 日 (日) 麗澤ラグビー場

12:00 A 対 B

13:45 C 対 D

(2) 12 月 23 日 (日) 日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場

12:00 B 対 C

13:45 D 対 E

(3) 1月19日(土) 横河電機武蔵野 G

12:00 A 対 D

13:45 C 対 E

(4) 2月3日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

12:00 A 対 E

13:45 B 対 D

※熊谷ラグビー場Cグラウンドにて、高校生試合を行う予定

(5) 2月17日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

12:00 A 対 C

13:45 B 対 E

(6) 2月24日(日) 予備日 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

10. 参加資格

(1) チームについて

関東ラグビーフットボール協会に登録しているチームであること。

(2) 選手について

- 関東ラグビーフットボール協会に登録している満18歳以上の女子選手。
- 18歳で高校在学中の選手は、「特段の健康上の問題はない」旨の医師による「健康診断書」、および本要項に添付した所定の「保護者承諾書」を提出した者とする。なお、高校生については、選手の安全を第一とし、一般の試合に出場できるフィジカルとスキルを兼ね備えていることを条件とし、人数合わせのために参加させてはならない。また、本大会に出場する高校生選手は、期間中併催される高校生の試合へは出場出来ない。

※来期以降の出場選手については、2001年4月1日以前に生まれた者とする。

(高校生の出場は不可)

- 本大会を通じて同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。
- 既往症(内科的疾患も含む)がある場合は、前もって大会実行委員に医師の診断書を提出し、関係者が相談のうえ参加の可否を判断する。

11. 競技規則

(1) 2018年度版 World Rugby 競技規則にて実施する。

(2) 試合時間は、40分ハーフとし、ハーフタイムは10分以内とする。

尚、原則としてロスタイムはとらない。

(3) 試合当日の選手の登録は、23名以内とする。

- 各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなけ

ればならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。

- フロントローについては3名まで、その他の選手は5名まで入れ替える事ができる。
 - フロントローリザーブが1~2名までしかいないチームは、23名まで登録することはできるが、入れ替える事のできるその他のプレーヤーは5名までである。
- (4) キックオフまでに15名揃わなかった場合、リザーブも含め、他のチームからの貸し借りは無しとする。1チームにつき15名より少ないプレーヤーによる試合を許可する。この場合、スクラムにおいて常に1チームにつき少なくとも5名のプレーヤーが参加しなければならないとする以外は、本競技規則がすべて適用されることとする。
- (5) 選手の入替及び交代は、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しMOまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。
- (6) マウスガードの着用を義務とする。
- (7) 19歳未満の選手はヘッドギアの着用を義務とする。

1 2. 競技方法

- (1) 試合人数：15人制
- (2) リーグ戦方式にて行い、勝点の多いチームから順に順位を決定する。
- (3) 順位の決定

試合終了毎に、勝点（勝ち：4点、引き分け：2点、負け：0点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点が高数の場合は、次の順序で順位を決定する

- ① 試合終了時に勝点が高数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。
- ② 得失点差が高数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。
- ③ トライ数が同じ場合には、コンバージョン数の多いチームを上位とする。
- ④ 上記全てが同じ場合には、抽選で順位を決めることとする。

(a) 不戦勝チームは勝ち点「4」、不戦敗チームは「0」とする。

(b) ボーナス点として以下の勝ち点を与える。

- ・ 負けても7点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。
- ・ 勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点「1」を追加

- (4) 優勝・準優勝・3位チームは、3月3日(日)小田原市城山陸上競技場にて開催「第5回全国女子ラグビーフットボール選手権大会」へ出場。

詳細は、チーム決定後、(公財)日本ラグビーフットボール協会より連絡があります。

1 3. アンコンテストスクラム

- 退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はアンコンテストスクラムにより続行される。
- レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいない、または、安全上の理由で、アンコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。
- レフリーによりアンコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて続行される。
- また、その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。

